

三島公民館だより

1月

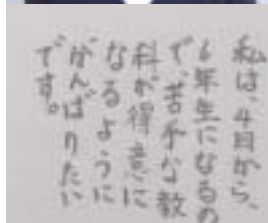
新年の 抱負

今年私達(ねずみ年)の年です

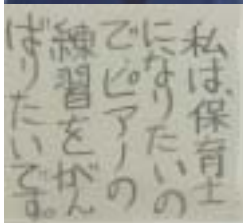
四月から最高学年になる三島小五年生の中から、年女となった三人の児童に今年の抱負を書いて頂きました。



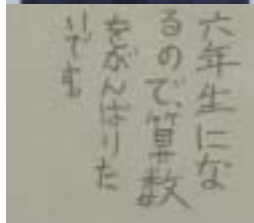
棟田ひかるさん(下大野)



松崎 真悠さん(川上)



土釜 伴美さん(広見)



【十二支の話】

ネズミや牛など、どうして十二支は、この動物達なんだと、ふと思ったことはありませんか。日本には次のような民話が残っているそうです。

昔々の年の暮れ、神様から動物達にお触れが出た。「元旦に、新年の挨拶に来た者のうち、一番から十二番目までの者は、一年間、動物界の大将にしてやるぞ」と。全ての動物が、元旦の来る時を張り切つて待っていたが、猫はうっかり挨拶へ行く日を忘れてしまった。ネズミに尋ねる猫だが、ネズミはライバルを減らそうと、「一月二日だよ」と嘘を教えたのだった。

ついに元旦が来た。牛は「俺は歩くのが遅い、先に行かねば」とまだ暗いうちから出発。それを牛小屋で見ていたネズミが牛に気付かれぬようその背中に飛び乗った。

さあ、神様の屋敷に着き門が開いたとたん、ネズミは牛から飛び降りてダッシュ。虎・兎・龍・蛇・馬・羊・猿・鶏・犬・猪が到着。猫は一日遅れのご挨拶となった。だまされ大将になれなかった猫は、それ以来、ネズミを追い駆け回すようになった。

近所づきあい助け合っ心

三島公民館長 葛川 熊夫

それぞれに輝かしい、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、よく言われているように、お付き合ひ・思いやり・ぬくもり・やさしさ・感謝などを含めた「人間らしさ」、その心は、かつて田舎の農村社会がもっていたものでありました。

先日、『今その回復が求められている』という記事を見て考えさせられました。以前はあたりまえの事であったはずのそうした美風も、現代では希薄になり、何か運動でも起こさないと、よみがえらない社会風潮になっているような気がしてなりません。

高齢者が多くなったから何もできないというのではなく、みんなが田舎の良い習わしを思い出し、近所づきあいなど誰もが出来ることから始めていけば、人が人を大切にし、家庭や地域が守られ、人間らしい心の通う「ふるさと三島」になるのではないかと考えています。

良い提案がありましたらお知らせ下さい。そして共に努力して行きましょう。

住民の活力で一致団結

農民祭・総合文化祭

今年で五年目となる小学校・地区合同の農民祭・総合文化祭が十一月十八日、三島小学校で開催されました。

昨年の秋は、いつまでも残暑が続き、雨量も大変少ないという、野菜づくりにとつては悪条件の多い時期だったにもかかわらず、当日は例年どおり、各部落から、立派な野菜が会場いっぱいになるほど集まりました。

三島に暮らす皆さんの、農林業に対する熱意と、伝統行事を守り続ける固い団結力を再確認した一日となったのではないのでしょうか。



200品を超える新鮮な野菜がずらりと並んだ農産物展示コーナー。即売会ではキャベツ、しょうが、白菜に人気が集中していました。



多くの人で賑わう婦人会のバザー会場。体も心も温まるアツアツうどんに舌鼓を打つお客さん。



文化祭のトリを努めた「はげます会」の皆さん。「梅川忠兵衛」を感情豊かに熱く演じていただきました。



テーブルと椅子が設置されたバーベキューコーナー。普段は土足厳禁のワークコートですが、この日は、靴を履いたまま楽に上がってもらおうと、JA職員の皆さんが一生懸命、ピニールを敷きつめました。



趣味の道に力を入れた展示コーナー。陳列された作品は、どれも手がこぎやたさな顔の超え

農林産物品評会の入賞者

品目	優等	1等	2等
栗	渡辺久美子 (小松)	高田 一郎 (延川)	室 孝雄 (小松)
キャベツ	上野 松枝 (下大野)	中川ワサエ (小松)	松本 健志 (小松)
ネギ	酒井 勇 (久保)	池田 文男 (広見)	
ほうれん草	小越 悦子 (川上)	古用マチ子 (川上)	杉本 康志 (広見)
白菜	井上ヤスエ (下大野)	都川 祐明 (広見)	兵田 弘 (下大野)
大根	兵田 弘 (下大野)	井上ヤスエ (下大野)	菅 静雄 (小松)
カブ	兵田チサト (下大野)	岡本 昇 (広見)	松本 健志 (小松)
人参	兵田 弘 (下大野)	池田 文男 (広見)	高瀬 文男 (小松)
生姜	橋村とし子 (延川)	高田 一郎 (延川)	
ゴボウ	兵田 弘 (下大野)		松浦 和之 (延川)
サツマイモ	芝 茂 (延川)	芝 藤恵 (延川)	兵田 弘 (下大野)
キウイ	本倉とし子 (小松)	本倉 勲 (小松)	古谷 菊一 (下大野)
柚子	松浦 和之 (延川)	渡辺 吉輝 (小松)	渡辺 重亀 (小松)
大豆	谷口 貞子 (延川)	古谷 菊一 (下大野)	横山 正男 (川上)
小豆	中山 宮子 (川上)	峠 徳満 (下大野)	
生椎茸	清家 昇 (下大野)	芝 茂 (延川)	宮内 鶴幸 (川上)
乾椎茸	芝 茂 (延川)	瀧谷 俊彦 (川上)	清家 昇 (下大野)
米	松浦三千夫 (小松)	横山 一郎 (川上)	松浦 忠 (小松)
パレイショ		松下 弘 (延川)	稲垣 照美 (下大野)
柿	伊手 英明 (川上)	芝 茂 (延川)	清家 和子 (広見)
ブロッコリー	中里 忠 (下大野)	努力賞：大根の部 本倉 正 (広見)	

ボランティアの輪

三島公民館 垣根剪定

公民館の垣根の剪定作業が小雨降る十二月十二日、ボランティア約二十人の手によって行われました。

この日集まったのは、日頃から館を利用されている囲碁や体操など趣味のグループや、集会所として使用している小松三組（富町・富西・富東）有志の皆さん。昨年までお世話を頂いていた故松浦正次さんの意思を受け継ぐような形で、ボランティアを引き受けて頂くことになりました。

そのほか同じく館を利用されている「ゆりの会」の皆さんには、モップ掛けやガラ拭き等を定期的にご協力頂いています。



剪定バサミで熱心に整枝作業をする皆さん。



樹形が整えられ、すっきりきれいになった垣根。雨合羽を着ての作業、本当にお疲れ様でした。

炭焼き体験

【窯入れ：11月26日】
【窯出し：12月10日】

注連飾り作り

【12月26日】
戸祇の子学級



程内覚さん所有の窯場で「炭焼き体験」。程内さん指導の下、今年も炭焼きに挑戦です。



お年寄りの手解きを受けながら、お正月に我が家の玄関に飾る「注連飾り」を一生懸命に作る児童達。きれいな飾りが完成すると、老人クラブの役員さんが、早朝から1本1本丁寧に「わらすぐり」を行いました。



戸祇の子学級恒例の炭焼き体験・注連飾り作りが行われました。子供達は老人クラブの皆さんや地域の皆さんと触れ合いながら色々なことを学んでいます。三島の宝がこれからも元気ですくすくと育つよう、地域全体で見守っていきましょう。



完成後は、世界に一つしかない立派な「注連飾り」を手にして、全員で記念撮影。今年も、「わら」は、稲木の天日干しで米を作られた二宮健三さん（下大野）に、竹とウラジロは、メイン講師となる渡辺修さん（広見）に、そのほか「ユズリハ」は小川徳幸さん（延川）に用意して頂きました。本当にありがとうございました。

行事予定

- 1月 -

3日(木)成人式

9:00~

広見体育センター

剣道スポ小稽古始

13:00~

三島小学校体育館

4日(金)御用始め

20日(日)鬼北町駅伝大会

9:30から発走

鬼北総合公園

27日(日)消防団出初式

9:00~

鬼北総合公園

- 2月 -

18日(月)戸祇の子学級

田舎饅頭作り

お茶作法教室

13:30~

**祝・祭日には国旗を
立てましょう。**

発行者

鬼北町小松 1523

三島公民館

電話: 48-0111

FAX: 48-0303

公民館だよりは、下記のアドレスにアクセスすれば、カラーでご覧になれます。

鬼北町ホームページ

アドレス <http://www.town.kihoku.ehime.jp/>



タイムカプセルを開けて 古用 藍

成人式も終了し、着物から普段着へ替えて、公民館に集合した新成人の皆さん(右から程内迪子さん、室暁衣さん、今井真介さん、松本健介さん、古用さん)

リレー
エッセイ

我が愛しの三島

毎年、一月三日に開催される鬼北町成人式。今年はこの日の午後、三島出身の新成人十二人が公民館に集い、小学校卒業時に記念の品を収納したタイムカプセルを開封しました。今月号は、その中の一人、大学二回生となった古用藍さんにペンを執って頂きました。

戸祇の子学級の企画で埋めたタイムカプセル(私達の代が初年度)を開けるために、同級生十二人をはじめ恩師や当時の館長・主事さんらが顔を揃えて、同窓会が始まりました。八年前に一緒に埋めた記念のワインを飲みながら、当時の話に花を咲かせ、数年ぶりに集まったとは思えないほど楽しい時間が過ぎていきました。

今回のメインであるタイムカプセルから顔を出したのは、当時の習字の作品や日記、毎月の目標など、各々が今日この時を想いながらあれこれ考えて納めた思い出がいっぱいつまった品々。全てがとても懐かしく、またちよっぴり恥ずかしくもありました。

担当者の方には、こうして全員が顔を合わせ、楽しくお酒が飲める機会を作ってくれたことに深く感謝しています。おかげで「良きクラスメイトに出会ったな」と改めて感じた一日となりました。

またみんなが集まるうね。

寄附のお礼

次の方々から三島公民館・三島自治会へ寄附を頂きました。

心より厚くお礼申し上げます。

香典返しとして

十一月二十六日 松本 敏昭さん(小松)

十二月 六日 高平 國安さん(下大野)

十二月二十七日 松本 豊量さん(下大野)

紀寿祝いのお礼として

十一月二十九日 松本芳太郎さん(小松)

昨年、紀寿(数え年で百歳)を迎えられた松本さん。九月十五日に開催された「三島地区敬老行事」において、そのお祝いをしてもらったことに対する感謝の気持ちとしてご寄附が届きました。

(紙面の都合上、ご不幸とお喜びを併記することとなりました。ご理解をお願い致します。)